

第5回プロジェクト会議
雨のローズガーデンハウスで会議

みどりの企画管理課及び（公財）川崎市公園緑地協会のご協力により、ローズガーデンハウスで会議を行うことができました。あいにくの雨の中、ばら苑見学を想定し、東口ビクターセンターに集合し、雨の中ばら苑まで歩きました。

(1) 会議の概要

日時：2020（令和2）年6月19日（金）9：30～11：30
場所：生田緑地ばら苑ローズガーデンハウス
参加者：12名
内容：ばら苑を見学して発想を広げよう。



(2) 会議の内容

【資料の説明】

- 小田急電鉄の開発計画の内容の確認を行いました。
- 第4回のPJ会議の前にいただいた意見のまとめを確認しました。などなど。

【提言書について（内容及びスケジュール等）】

- 提言書はみんなの思いをまとめたもの。これを市に届ける。
- 年度内で仕上げたい。運営会議には第2回、3回と2回分の会議で議題としてあげたい。全体会での内容承認が理想。などなど。

【ばら苑ボランティアの活動内容の説明】

- コロナの影響で4月7日から活動休止。6月2日から活動再開。
- ローズマップはボランティアが作った。本数、株数はボランティア有志が確認。
- 除草、シュート処理、花ガラ取り、切り戻しの作業を行っている。など

【テーマの決定・前回のたたき台を踏まえての整理】

- ローズガーデンハウスは老朽化している。建て直す必要がある。小田急の工事と一緒にやれば工事はやりやすい（ばら苑整備も）。
- もっと大きな視点で話すべき。いま話あっているので具体的な内容。
- マネジメント会議の試みは、計画段階前に良心的に話会う。現場を知っている人に相談して計画を動か。生田緑地は市民が作り上げていく。
- 総合計画の位置づけもあるが、多摩区の観光の観点で大きなシンポジウムを開くとか。
- みんなの思いを提言書にまとめる。また、大規模化、現状維持、お客さん目線、ボランティア目線など、その位置づけ早く決めるべき。

●宿題1：ローズガーデンハウスは、1958（昭和33）年に建築確認申請を行ったので、だいたい築60年以上経過しています。



●宿題2：ばら苑の区域は、2011（平成23）年度に都市公園の告示を行いました。

次回の日程 7月13日（月）生田緑地整備事務所
主な内容⇒第5回の続き、白地図への書き込み、全体的な方針案など。
他都市のばら苑の動向（民間、公営を含めて）。

さまざまな思い、意見がたくさん出ています。
これから会議で煮詰めて